

【別紙】

「本件申立てに至った経緯」

昭和63年3月、〇〇高等学校を卒業致しました。卒業後、株式会社××に入社し、借金も無く、堅実に暮らしておりました。

① 最初の借り入れについて

平成9年1月、自動二輪車の購入資金としてJOBより10万円程借り入れました。返済は、収入の範囲で出来ておりました。

② 債務が増えていった原因

平成12年12月、株式会社××を退職致しました。その後、平成12年5月に現在勤務する株式会社△△に入社するまでの5ヶ月間、退職金と失業保険で生活をしておりましたが、日に日にお金も底を突き、クレティセソンから20万円借入れてしまいました。

入社はしたものの、当初は準社員ということで収入が少なく、日々の生活を圧迫するようになりました。その為、平成13年8月、生活費の不足分を補うためにアロムから5万円借り入れてしまいました。

平成15年9月、父が病に倒れてしまい、入院を余儀なくされました。その為、その入院費や治療費を補う為に、竹富士から30万円借入れてしまいました。

平成16年6月、□□と結婚致しました。その後、平成17年に長男が誕生し、借金はありましたが、順調な生活を送っておりました。

平成18年1月、もっと有効な返済手段はないかと考え、利息の低いジャポンネット銀行より200万円を借り入れ、JOBとクレティセソンを完済致しましたが、また借り入れを始めてしまい、結局、何の解決にもなりませんでした。今考えれば、安易な行動をしてしまったと心から反省しております。

平成20年10月、性格の不一致等から妻と離婚を致しました。財産分与と子供の養育費を合わせて500万円支払うことになり、足りない生活費を借りるようになりました。

平成23年6月、借金の総額が500万円を超えてしまい、このままでは自転車操業の繰り返しで社会に多大な迷惑がかかってしまうと思い、破産を申し立てる決意を致しました。

全ては私の精神的な弱さと経済観念の無さからこの様な結果を招いてしまったと深く反省しております。

債権者の皆様には多大なご迷惑をお掛けして、本当に申し訳ないと思っておりますが、今後はもう二度と借金をしない堅実な生活をしていく覚悟でおりますので、人生の再生の機会を与えて頂きます様、何卒、よろしくお願い申し上げます。